

経皮的冠動脈形成術を受けられる方へ

月日(日時)	入院日(治療前日)	治療当日(治療前)	治療当日(治療後)	治療後1-2日目
経過(病日等)	<ul style="list-style-type: none"> 安心して治療に臨めるように、治療の目的・内容を理解しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 安心して治療に臨めるように、治療の準備をしましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 合併症予防のため治療後の安静指示を守りましょう。 治療後、穿刺部の腫れや痛み、胸の不快感などの症状の変化があった場合はお知らせください。 	<ul style="list-style-type: none"> 合併症予防のため治療後の安静指示を守りましょう。 退院後の生活について理解しましょう。
点滴	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて点滴を始めることがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> 治療前から点滴が始まります。 	<ul style="list-style-type: none"> 治療後もしばらく点滴をします。 	
薬	<ul style="list-style-type: none"> 現在内服している薬を確認します。 内服薬については、医師または看護師から説明いたします。指示がない限りは普段通りお飲みください。 	<ul style="list-style-type: none"> 当日の内服薬については、医師または看護師から説明します。 医師の指示のもと、気持ちを落ち着かせる薬と抗生物質を内服します。 	<ul style="list-style-type: none"> 治療結果によって薬が変更になることがあります。 	
検査	<ul style="list-style-type: none"> 身長と体重を測ります。 必要に応じて検査が入ることがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> 順番が近づきましたら手術着に着替えます。 	<ul style="list-style-type: none"> 帰室時に12誘導心電図検査を行ない、その後、継続的な心電図モニターを装着します。 帰室後1～2時間おきに看護師が血圧測定などを行ない、状態を観察します。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝、12誘導心電図検査と採血を行ないます。
処置	<ul style="list-style-type: none"> 医師の指示に従い、鼠径周囲の除毛をします。 両足の甲の脈が触れるところに印をつけます。 	<ul style="list-style-type: none"> 針を刺す部位(穿刺部)に痛み止めのテープを貼ります。 治療室へ出発するときは、時計、めがね、義歯、湿布、指輪、ヘアピンなどを外します。 (口ストレッチャー・口車いす)で治療室に行きます。 	<ul style="list-style-type: none"> 手首から治療された方は、出血の有無を確認しながら、医師がおおよそ3時間後・6時間後に処置を行ないます。 足のつけねから管を挿入して治療をした方は、管を抜いた後に止血のため砂嚢をあてます。おおよそ3時間後にはずします。 穿刺部に管が入ったまま帰室された方は、時間がきましたら医師が管を抜きます。 穿刺部の管を抜いてから、おおよそ6時間後に医師の診察にて問題なければ安静解除となります。 安静解除の時間が夜になる場合は翌朝に行ないます。 	<ul style="list-style-type: none"> 前日に安静解除がされなかった方は、朝に医師が安静解除を行ないます。
活動安静度	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。 制限のある場合には医師又は看護師からお伝えします。 	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありませんが、安静にお過ごしください。 制限のある場合には医師または看護師からお伝えします。 	<ul style="list-style-type: none"> 穿刺部は安静が解除されるまでは曲げないでください。手首から治療された方は、手首に負荷のかかることはしないでください。 足のつけね以外を穿刺された方は安静が解除されるまではトイレ歩行程度としてください。 足のつけねから治療され管が入ったまま帰室された方は、管を抜いてから6時間後までは基本的にベッド上安静です。ご自身で動くことはできません。出血のおそれがありますので、横を向いたり膝を立てたり起き上がりたりしないでください。 	<ul style="list-style-type: none"> 安静が解除された後は制限はありません。 制限のある場合には医師又は看護師からお伝えします。
食事	<ul style="list-style-type: none"> 昼食より、食事を提供いたします。 食事療法をされている方、アレルギーがある方はお知らせください。 	<ul style="list-style-type: none"> (口朝食・口昼食)は召し上がることができません。 治療前まで、水またはお茶のみ摂取可能です。 	<ul style="list-style-type: none"> 治療終了後に軽食を提供いたします。 ベッド上安静の方は、寝たまま摂取します。 召し上がりやすい形態の食事を提供いたします。 穿刺部の管を抜いた後は、飲水・食事は可能です。 	<ul style="list-style-type: none"> 食事を提供いたします。
清潔	<ul style="list-style-type: none"> シャワー浴ができます。 シャワー浴ができない方は身体を拭くための温かいタオルをお持ちします。 	<ul style="list-style-type: none"> シャワー浴はできません。 	<ul style="list-style-type: none"> シャワー浴はできません。 	<ul style="list-style-type: none"> シャワー浴はできません。 身体を拭くための温かいタオルをお持ちします。 退院翌日からシャワー浴及び入浴が可能となります。
排泄		<ul style="list-style-type: none"> 治療前にトイレをすませてください。 医師の指示により、治療前に病棟で尿の管を入れます。 	<ul style="list-style-type: none"> 治療を行った場合、帰室後3時間は尿の管を入れて尿量を確認します。管の違和感が強い場合などは管を抜くことは出来ませんが、帰室後3時間は尿の量を測定していただきます。 足のつけね(そけい部)から治療をされた方は、安静が解除になった後に尿の管を抜きます。排便はベッド上になります。 	
説明生活指導	<ul style="list-style-type: none"> 医師から治療についての説明があります。 治療に関する同意書を確認します。 入院中に胸痛が出現した場合はすぐに医師または看護師にお知らせください。 バスタオルを1枚ご用意ください。 ICU入室予定の方は、オムツ(テープ式)を購入してください。入室に関する説明は別紙で行ないます。 	<ul style="list-style-type: none"> 治療中の顔色や爪色の観察のため、化粧やネイルカラー・ネイルアートは落としてください。 	<ul style="list-style-type: none"> 主治医より今回の治療結果や退院後のことについて説明があります。 穿刺部の腫れや痛み、気分不快などありましたら遠慮なく医師または看護師に声をかけてください。 	<ul style="list-style-type: none"> 治療後の経過に問題なければ、2日後に退院となります。 退院の流れについては、別途説明します。

※治療・経過については、現時点で考えられるものであり、今後検査・治療経過によって変更になる場合があります。

※入院期間については現時点で予測される期間です。